

このコーナーでは、九州一安心安全なまちづくりを目指す小林市で活躍する人やその活動など、協働のまちづくりに関する情報を提供します。



官民協働
くらしの便利帳を発刊
1月に市内各世帯に配布



協働
防災や餅つきをとおして
地域で子どもたちを育てる



塩野 勝 取締役常務執行役員は「地域の皆さんが活用していただければ」とあいさつしました

くらしの便利帳「てなも小林市～くらしの便利をこの1冊に～」の発刊式が、12月17日、市長応接室で行われました。(株)サイネックスと協働発行したこの便利帳は、行政情報や市役所での手続きのほか観光、イベントや文化などの情報を幅広く掲載。発行の費用は全て事業所からの広告料でまかなわれました。1月に市内各世帯の郵便ポストに投函される予定です。

「みかんやますマイルフェスタ」が、12月7日、栗須小学校で開催されました。同校児童や保護者、地域住民、消防団員、消防署職員など約600人が参加。餅つき大会やしめ縄づくり、持久走大会のほか、消防車両の見学やAED講習などを行いました。同フェスタの実行委員会大浦正人会長は「学校と連携し、地域で子どもたちを育て見守る体制を作っていきたい」と話していました。



写真左) 自分たちで育てたもち米を使ったもちつき 右) 消防団の〇×クイズを楽しむ児童ら

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、須木地区

須木地区に「すきむらづくり協議会」設立

住民が一体となって地域づくりに取り組むきずな協働体「すきむらづくり協議会」が11月29日、須木地区に設立されました。同日、須木総合ふるさとセンターで設立総会を開き、規約や役員を決定。協議会には安心づくり、元気づくり、むらづくりの3つの専門部

会を設置。部会員59人を中心に事業を行っていきます。総会では、みどり豊かで笑顔の絶えない安心安全な須木を目指して、ウォーキング・マラソン大会の開催や地域の魅力を発信するマップづくり、避難所への表示板設置などの事業が承認されました。



ふるさとセンターで行われた設立総会

すきむらづくり協議会
会長 金松 勲さん

「どうにか設立の目を迎えられました。役員を中心に団体・行政・住民力を合わせて頑張っていきたいと思います。(設立総会にて会長あいさつ)」



協働により「九州一安心安全なまち 小林市」を目指して

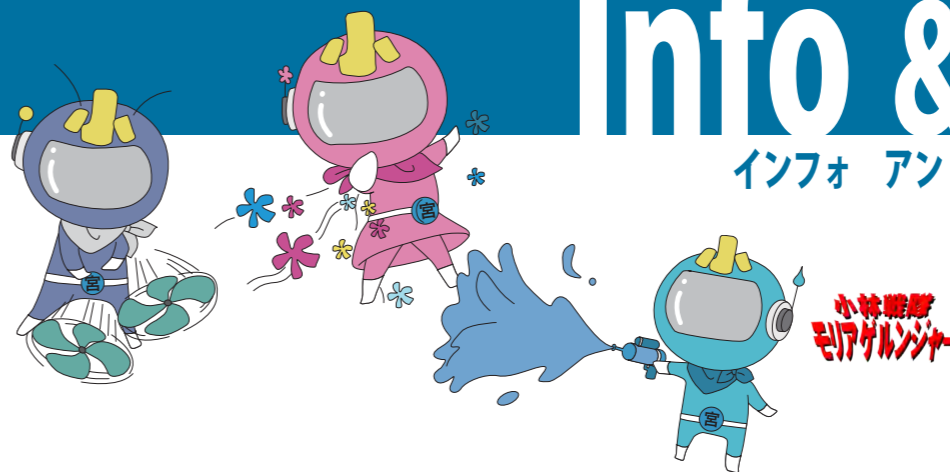


も応援。

こばやし協働

Info & News

インフォ アンド ニュース



このイラストは、小林高校3年生 海蔵楓寧さんが(当時・永久津中3年生)小林市の活性化を願い作成したものです。市の自然(花、星、水、虫)がモチーフになっています。



行政評価
市民目線で市の事業を評価
外部評価委が報告書を提出



防災
被災者・支援者のつなぎ役
コーディネーターに59人



肥後市長に報告書を提出する山之口委員長。報告書の内容は、市ホームページでも確認できます

市の事業を外部の視点から評価する「行政評価外部評価委員会」が11月28日、報告書を肥後市長に提出しました。学識経験者や公募など9人からなる同委員会は、「水資源保全対策事業」や「協働のまちづくり推進事業」など25年度の10事業の評価を実施。個別に担当職員から内容を聴き取り、改善点や意見をまとめてきました。山之口志朗委員長は「市財政の効率化、健全化や事業内容の見直しに反映してほしい」と話していました。

災害が起きたときの被災者と、NPOやボランティアなどの支援者を結びつける「災害ボランティアコーディネーター」養成講座の修了式が、11月15日、市民活動支援センターで行われました。養成講座を企画・運営したのは、市から委託を受けた「小林市災害ボランティアコーディネートセンター」。4回にわたり、専門家による講座を実施してきました。式では、第1期生となる59人に、肥後市長から修了証が手渡されました。



式で肥後市長が「お互いに支え合えるまちづくりのため、皆さんの奮闘に期待します」とあいさつ